第13期小児循環器学会専門医認定試験申請用　受け持ち入院患者要約(様式4-2)

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 症例番号 |  | 患者年齢 |   | 性　別 | □　 男　□　女 |
| 診断名 |  | 入院期間 | 年　月　日～　年　月　日 |
| 分　類 | a)後天性心疾患・b)不整脈・c)新生児・d)成人先天性心疾患・e)周術期管理・f)その他　 |
| 添付資料 | □カテーテル報告書・□心エコー報告書・□運動負荷検査報告書・□ホルター心電図報告書・□画像 |
| 主治医担当医名 |  | 画像:□心電図,□その他（　　　　　　　　　） |
| 要約記載について1. 受け持ち入院患者要約の記載には、様式4-2(本様式)を使用してください。
2. 様式4-1の入院患者要約一覧表と症例番号を一致させてください。
3. 1症例を申請者2人まで用いることができますが、要約は個別に書く必要があります。
4. 入院患者要約は、修練期間中に入院し、主治医または担当医として直接関与した症例でなければなりません。申請者が主治医・担当医として診療録に記載されていなければなりません。また、本要約の主治医・担当医欄にも診療録と同一の記載が必要です。
5. そのほか、入院患者要約記載上の注意（別記）をご覧の上、要約を作成してください。
 |

＊事務処理欄にて記入不要

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 受理日 | 受理番号 | 認定１ | 認定２ |
| 　 | 　 | 　 | 　 |

（別記）入院患者要約(様式4-2)記載上の注意

1. 要約全般
	1. a)後天性心疾患（心筋症も含む）、b)不整脈、c)新生児症例、d)成人先天性心疾患（16歳以上）、e)周術期管理をした例をそれぞれ2例以上が必要です。様式4-1の入院患者一覧表のそれぞれの項目に✔を入れてください。
	2. [病歴]、[身体所見]、[検査所見]、[治療]、[考察]の5項目に分けて記載して下さい。
	3. 字数はおおむね1200-1500字とし、手術した例では[手術所見]、[家族.本人への説明]の2項目を加え、計7項目を記載して下さい。
	4. 型分類等が異なっても診断名および病態が同一の疾患は、2例までの申請しか認められません。

例１：VSD、ASDはそれぞれの中の型分類が異なっても、2例までとする。ただし、治療が必要な合併症（VSD＋PH、VSD+AR、ASD+治療が必要なPS, など）があれば別な病態としてよい。

例２：PDAは出生体重に関係なく、治療が必要な合併症がなければ2例までとする。

* 1. a)-f)の順、かつ様式4-1の入院患者一覧表順にそろえて提出して下さい。
1. 検査結果報告書
	1. 心臓カテーテル検査(5例)、心エコー図検査(5例)、運動負荷検査(2例)、ホルター心電図検査(2例)の検査結果や判定をA4版の別紙報告書として添付してください。各検査報告書には、申請者自身の判定やコメント、氏名が入っていること（施設所定のレポートには記載できない場合は別紙にご用意ください）。
	2. 1症例に複数の検査結果報告書を添付しても差し支えありません。
	3. 検査ごとにそれぞれ異なる疾患の症例を選択し報告してください。（すなわち、カテーテル検査報告書を添付する5例は異なる疾患でなければなりません。心エコー、運動負荷、ホルターについても同様です。）
	4. 報告書として各施設の書式を用いたものを添付する場合には、匿名化（ID・氏名・生年月日の秘匿）して下さい。
	5. 検査は、入院前後に外来で施行したものでも差し支えありません。
	6. 添付資料のある症例では、様式4-1の入院患者一覧表のそれぞれの項目に✔を入れてください。
2. 画像データ
	1. 心電図、心エコー図、その他の画像（心血管造影、ホルター心電図、トレッドミル、CT, MRI等）のうちどれか一つを計3症例に添付してください。3症例のうち必ず1例以上は心電図を添付して下さい。
	2. 1症例に複数のデータ(心電図と心エコー図など)を添付することはできません。
	3. 心電図は12誘導、その他の画像については1症例につきそれぞれ4枚以内の画像データを症例要約書式（様式4-2）とは別にA4サイズの良質紙にプリントアウトして添付して下さい。添付画像は明瞭であり、かつ症例を特徴づけるものにしてください。
	4. 画像が添付された症例では、様式4-1の入院患者一覧表画像欄に✔を入れ、その他の画像の場合には、( )に添付した画像の種類を記載して下さい。